

シアトル別院時報

42巻11月号

2023年度 BCA 教化標語

「念仏道、行けばわかるさ

—南無阿弥陀仏をとねえれば—」



今日のご法話

“王舎城の悲劇 野心と怒り～
観無量寿経～”

輪番 楠 活也



ウクライナでの戦争が続いています。イスラエルでも戦争がはじまりました。憎悪と憎悪が激しくぶつかり合い、世界が二分されていっているように感じます。仏教は、苦しみの連鎖、憎しみの連鎖から離れ、悟りという寂静の境地を求め生きていく教えです。悟りを目指して生きていく中で、敵と味方という二元的な見方ではなく、すべてのいのちが一つのようにつながっていることに気づいていき、それぞれ違う人間同士、お互いを認め合いながら生きていく生き方を学びます。仏道を歩んでいくということは、仏の姿（仏性）に学び、自分自身の凡夫としてのありさまや本性に気づいていくことです。今月は、浄土三部経の一つ、観無量寿経を皆さんと一緒に聞かせていただきながら、我々凡夫の生きる道を共に考えさせていただきたいと思えます。

今からおよそ2500年、インドにマガダ国という国がありました。その国は、ビンバサーラ王が統治していました。お妃は、イダイケ夫人で、二人には一人息子のアジャセ王子がいました。ビンバサーラ王もイダイケ夫人も熱心な仏教徒で、お釈迦様のお説法をよく聞いていました。

ある日、アジャセ王子は、ダイバダッタという修行僧に出会います。ダイバダッタは、お釈迦様のいとこです。ダイバダッタは、勉強に優れた僧侶でしたが、同時に大変な野心家でもありました。ダイバダッタは、アジャセ王子に、

「お前が、ビンバサーラ王を倒して、この国の王となり、私が、釈迦を退け、仏教教団のリーダーとなって、二人でこの国を支配しよう。」

11月の予定

日曜法要は対面と同時配信

- 2日(木) 1時半 日系マナー法要
- 5日(日) 10時 日曜法要
11時 大掃除
- 10日(金) ベテランズ・デー 事務所休み
- 11日(土) 永代経セミナー 9時半 日本語
11時 英語 ご講師 林齊昭師
- 12日(日) 10時 永代経無縁法要・お稚児
シアトル別院創立記念日
ご法話 林齊昭師 デンバー仏教会
- 14日(火) 9時半 日本語法座
6時半 勉強会
- 15日(水) 10時 祥月法要・合同メモリアル
- 16日(木) 1時半 日系マナー法要
- 19日(日) 10時 秋の音楽法要
11時 日本語プログラム ビデオ
- 21日(火) 9時半 日本語法座
- 22日(水) 10時 英語法話会
- 22日(水) 11時 メリル・ガーデン法要
- 23・24日 感謝祭 事務所休み
- 26日(日) 10時 家族法要
11時 日本語プログラム ビデオ
11時45分 お内陣ツアー
- 29日(水) 10時半 英語法話会

輪番休み 月曜日、水曜日午後

と誘います。アジャセ王子は、その誘いに乗ってしまいます。アジャセ王子は、父のビンバサーラ王を牢屋に幽閉し、餓死させようとしてしました。そのことを知ったイダイケ夫人は、なんとか夫を助けようと画策し、密かに食べ物を牢屋に運び込みました。その食べ物のおかげでビンバサーラ王は、体の健康を維持することができました。また、ビンバサーラ王は、お釈迦様に「お弟子さんを送ってもらえないだろうか。」と懇願します。その願いを聞いたお釈迦様は、目連尊者と富楼那尊者を派遣します。二人の尊者は、ビンバサーラ王に仏さまの教えを届けました。そのため、ビンバサーラ王は、牢屋の中にいながら、仏道を歩む生活を送ることができ、心も健康で安穩に暮らすことができました。

3週間が経ってもビンバサーラ王が死んだという知らせが来ません。不審に思ったアジャセ王子は、牢屋を訪ねます。そこで、門番から、お釈迦様のお弟子が訪ねてきたこと、イダイケ夫人が食べ物を運んでいることを知らされます。烈火のごとく激怒したアジャセ王子は、刀を抜き、自分に対して裏切り行為をしている母、イダイケ夫人を殺そうとします。しかし、そこは、大臣が必死に説得し、イダイケ夫人はなんとか一命をとりとめました。ただ、怒りの治まらないアジャセ王子は、母、イダイケ夫人も牢屋に閉じ込めてしまいました。

牢屋の中からイダイケ夫人も懇願します。「お釈迦様、どうか、わたしにもお弟子の目連尊者と阿難尊者をお遣わし下さい。」その願いを聞いたお釈迦様は、目連尊者と阿難尊者の二人をイダイケ夫人のもとへ遣わします。さらに、二人のお弟子様と共に、お釈迦様も自らイダイケ夫人のもとへ行かれました。金色に輝き蓮の花の上に座られた尊いお姿のお釈迦様を拝見し、イダイケ夫人は泣きながらお釈迦様に訴えます。

「どうして、私がこのような目に合わなければいけないのでしょうか。どうして、こんな悪い子を産んでしまったのでしょうか。わが子をそそのかしたダイバダッタとお釈迦さまが親戚とはいったいどういうことでしょうか。」

わが子に夫を幽閉され、自分自身も殺されそうになるという目にあつたイダイケ夫人。その心のこみあげてくる悲しみ、苦しみは尽きません。それが「どうして、どうして」という言葉となってお釈迦様に投げかけられます。しかし、この悲劇が起こってしまった背景には、アジャセ王子の出生の秘密が大きく関わっていました。(つづく)

日本語のメール・アドレス。 seattlebetsuin.nihongo@gmail.com

・ 祥月法要のお名前が英語面に掲載されます。

11月のスケジュール

5日	お寺の大掃除
10日	ベテランズ・デー 事務所休み
11日	永代経セミナー 9時半 日本語 11時 英語 デンバー仏教会 林齊昭師
19日	秋の音楽法要
23・24日	感謝祭 事務所休み

12月のスケジュール

3日	成道会法要
31日	除夜会法要

Seattle Betsuin Buddhist Temple

OCHIGO

NOVEMBER 12, 2023

For Kids Age 2 to 8 years old
Join the procession by reaching out
to Ayano Kusunoki or Katherine
Brownlee



ミュージック・ノート

ケミ中林

11月19日には第19回秋の音楽法要があります。新しい曲も紹介されます。皆さんお誘い合わせてお参りください。

シアトル別院のサポートで2021年の米国婦人会連盟の音楽プロジェクトの申請・決議を得て、今年のある京都での世界仏教徒大会でビデオとステージのパフォーマンスをすることができました。

この曲の完成とその過程は10月21日の米国婦人会連盟の代表者会議で報告しました。またこの曲は10月22日のシアトル別院婦人会の先亡者追悼法要の仏歌としてプログラムに入りました。

ウェブでのセミナー（ウェブナー）で「ランタン・ソング」がプレミアされている、「ボンブ・ストーリーズ」が見られなかった方々のためにビデオがユーチューブにポストされました。

<https://www.youtube.com/watch?v=pCKVBUryhzs>

このボンブ・シリーズのチームはとても優秀でBCAの125周年記念の新しい盆踊りソングと振り付けをクリエイトしました。タイラー森口と他の盆踊り・太鼓のサブコミティーがウェブナーでの発表を準備しています。

ダーマ・スクール・ニュース

ダーマスクールは順調に進んでいます。10月の最初の日曜日には子供の法要がジムであり、その後ピザを楽しみました。ピザは寄付をお願いし、収益はラハイナ本願寺に寄付されます。10月中に集めたお金も加算されます。生徒は家でお手伝いをし得たお金を寄付しました。また生徒たちと家族はお見舞いの手紙を用意し寄付と一緒に送られます。

お寺の火災訓練があり、全員スムーズに退去できました。火事の場合、父兄はウイステリア・パークに子供たちを迎えに行ってください。10月29日の子供の法要は中学生のクラスがリードします。その後、「トランクかトリート」イベントがあります。別院のメンバーの家族は誰でも参加できます。

合掌、 イベット寺田、クレア村田、ダーマスクール 責任者

サーモン・ディナー・ファンドレイズ報告とお礼

シアトル別院でのファンドレイズ、サーモン・ディナーは9月23日に開催され、コロナ・ウィルス発生以来4年ぶりに別院での食事が可能になりました。1100枚のディナーが売れました。価格は23ドルで、食材の値段の高騰に対して値上げとなりました。収益目標2万5千ドルには届きませんでした。サンガが一体になりイベントができ、友人に会える機会だったことは大変有意義なファンドレイズでした。

今年はニューシステムを導入し、Eチケットとなりました。このシステムで学んだことが多かったですし、クレジットカードの手数料もありませんでした。前売り券システムは必要なことで、サーモンのオーダーを的確にできます。またレフトオーバーも避けられます。寺院内での食事ができることも含めてセールが50-60%落ちました。多くのメンバーのお手伝いがありましたが、特にロン浜川、マリー小財ルーク、ジョーン中野、ステフ小島、スージー竹田に感謝します。

スペシャル・サンキューは、ケントの地域の農家からコーンの寄付をいただきました。23ケースのフレッシュなコーンが届きました。この農家はロードサイドのスタンドがあり、一年を通じて野菜や果物、プラント、ホリデー品を販売しています。

ベークセールに寄付をされた方々や、ボランティアに感謝します。全員のお名前が分かりませんので、個々に書けませんでしたがお礼いたします。

252 パック報告

10月にパックはキャンプ・ハロウィーンに行き、キャンプ・エドワードには泊りがけで行きました。雨にもかかわらず全員楽しみました。11月12日のお稚児行列のあとにはベークセールに立ち寄りください。ミニ弁当、ベーク品、コーヒーはEspresso Vivaceを用意します。

BCAの"Dial The Dharma" (テレホン法話) というのをご存知でしょうか。インターネットができない方でも、電話で短い日本語の法話が聞けます。(英語もあります) 英語は毎週原田総長がお話しされます。日本語は、日本語ができる開教使が順番で法話をします。法話は毎週水曜日に新しいものに更新されます。法話は5分以内のものです。電話番号1-800-817-7918、その後英語であれば1を日本語であれば2を押せば聞くことができます。

別院維持会会費

別院維持会費はお寺の維持・運営の経費になります。また運営とプログラム(オンラインのライブ配信、バーチャル法要、レクチャー費用、メディテーション費用、ブック・勉強会費用など)の経費になります。BCAの会費と西北部会費はお納めの維持費の中から別院が会員数を支払っています。

70歳以下は最低400ドル、70歳以上は350ドル、30歳以下は200ドルです。分割で納めることも可能です、お納めの方々ありがとうございます。会費をお納めになられた方々のお名前が英語面にあります。

カレッジ歓迎会

今年のカレッジ歓迎会には30名に若者が参加、新しい友人と出会い、先生に紹介され、家庭料理を楽しみました。本堂での短い法要でスタートし、お内陣のツアー、向かいのお寺のパークで梵鐘を撞きました。お寺の周りを歩き、参加者の一人が描いた壁画を見ました。スージーとコナーが花札ゲームで遊び、マリーとジョーンの用意したディナーを楽しみました。特に大学院生など一人で住んでいる人にはとても喜ばれました。食事の後にピククルゲームとピンポンで遊んだ後解散となりました。ライトレール駅まで送り届け、大学に戻りました。学生たちにお寺を紹介し、メンバーにはお世話になりました。 ティーナ頭本コー



秋の日本語仏教講座

11月11日土曜日
9:30-10:30

タイトル
"お浄土に思いを寄せて"



REV. NARIAKI HAYASHI

ご講師: 林育昭先生

場所: シアトル別院
(ZOOMでもご参加いただけます。)

お申込み: SEATTLEBETSUIN.COM/JAPANESE-EVENTS

SUGGESTED DONATION: お寺のメンバー
\$10、お寺のメンバー以外の方 \$20

ご質問などは、こちらのE-MAILにご連絡下さい。
SEATTLEBETSUIN.NIHONGO@GMAIL.COM

1427 S MAIN ST, SEATTLE WA 98144
SEATTLEBETSUIN.ORG/SEMINARS

婦人会便り

鹿島加奈子 シアトル別院婦人会共同会長



別院婦人会の活動基本方針 (ミッション・ステートメント)

浄土真宗に基づく仏教徒としての認識を高め、会員の親交を促進すること:シアトル別院を支え、支援し、地域社会に貢献する:

10月 は少し静かな月でした。

婦人会では玄関の待合所とラウンジに新しい家具を購入しました。とても素敵です。ティーナ Z-K とスージー T に感謝します。

10月22日に婦人会先亡者追悼法要がありました。先に亡くなられた婦人会会員に敬意と感謝を込めて、とても素晴らしい法要でした。2面のスクリーンにお名前と写真が映し出されました。仏歌は今年の仏教婦人会世界大会でお披露目された「ガッショー・フロム・ダ・ハート」を歌いました。今年私たちは9人のメンバーを亡くしました。有延幸、浅場マリアン、出先康子、小林フランシス、尾辻信子、志萱テリー、イー福代、横田住江、吉原いそこ。



当日のダーマ・エクスチェンジの後、役員、元会長、会員で現共同会長のジェニー大川のお別れ会を開きました。ジェニーは家族に近いワ州バンクーバーに引っ越しました。ユキオ森久保とジェフ山根が白河仏教会のバザーにオーダーしたランチをピックアップしてくださり、お弁当と元会長のナイナ T-K、和田まちこ、ジャネット B、フラン S、の用意したケーキとキヨ T の有名なシフォンケーキのデザートを楽しみました。ドライバーのユキオとジェフに感謝します、ありがとう。

写真は上、 ジェニー O とケーキ 左下、ティーナ Z-K, メイ Y, ローレン A, ジェニー O, 加奈子 K, キャレン M, スザン F, スージー Y 右下、律子 K, 藹子 F, トミ Z, 絹江 K



